

「賛助会員」加入のお礼と金額のご報告

時下益々、ご隆昌のこととお慶び申し上げます。
平素より本会の地域福祉活動につきまして、深いご理解と格別のご支援、ご協力を賜り感謝申し上げますとともに、この度は本会の賛助会員としてご加入いただいた上、会費の納入を賜り厚く御礼申し上げます。ご協力いただきました浄財は、市津地区の地域福祉の推進を担う本会の貴重な活動財源として有効に活用させていただきたいと存じますので、今後ともご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市津地区社会福祉協議会 会長 泉 敬太郎

賛助会員 金額報告 合計 746,000 円

個人名義 494 名様 町会名義 9町会様

賛助会費はこのような事業に有効活用されております。

まごの手



買い物ツアー



いきいきサロン



ひよこクラブ



友愛訪問



まごころ収集



賛助会員企業様

(有) 潤井戸タクシー
(有) 市津工業所
(株) 長尾製缶所
みかど化工(株)
(有) 八幡屋
潤井戸ヘブンホール
(有) 中精商店
喜多ホーム
(株) イチハラ管材
特別養護老人ホーム グリーンホーム
春の日デイサービスセンター市原
千葉県風土紀乃会
トミノ洋品店
日本リノ・アグリ(株) 順不同

「歳末たすけあい募金」のご協力に関して

金額：215,141 円 12月5日現在

12月5日現在の市津地区寄付金額は上記の通りとなっております。ご協力いただいた募金につきましては、市原市社会福祉協議会を通じて地域福祉支援事業へ活用させていただきます。

ゴミ出し支援「市津まごころ収集」 コーディネーター・協力員募集！

住民の困りごとから「ゴミ出しへの支援」の要望があり、令和4年3月より住民参加型の有償ボランティア「市津まごころ収集」が開始されました。令和4年11月現在、3件のゴミ出し支援が実施されています。今後もますます需要が高まることから、ゴミ出し支援の調整役である「コーディネーター」を募集します。

また直接ゴミ出し支援を行う「協力員」は現在25名の登録がありますが、ゴミ出しには町会ごととの支援が望まれるため、今後も随時募集を受け付けています。

コーディネーター

コーディネーターの役割 住民から市津まごころ収集の依頼が会った際、協力員を探し調整する役割です。

謝礼

一件につき300 円

募集人数

2 名（市東地区1 名、湿津地区1 名）

協力員

協力員の役割

ゴミ出し依頼者の玄関先からゴミ収集所までの一般家庭ゴミの運搬。
(粗大ゴミや収集所の清掃は含みません)

支援回数

最大 月6 回（利用者の希望によります）

謝礼

1 件あたり月300 円

市津
まごころ
収集



第22号

発行(年2回)市津地区社会福祉協議会
令和4年12月20日
編集・広報部会 事務局・市原市下野400・1
問い合わせ先 0436371235

番場町会

町会長 根本満裕

番場町会は村田川を挟んで南北に分かれています。戸数は45戸、住民は115名前後です。この地区では稲作も行われていましたが、後継者がなく、今はほとんどが耕作放棄地となっております。南側は静かな集落ですが、北側はベッドタウンの「ちはら台」と隣接しております。ちはら台には生活に必要な商業施設・学校があり、買い物や小中学校への通学もしております。また、ちはら台を経由した交通アクセスも便利で、千葉や東京へ気軽に出掛けることができます。ただし他の町会同様、少子高齢化が進んでおり、過疎化が心配されます。

番場には「山の地主神」としてすなわち「山王」とされた山王神社を有しています。番場の氏神として末永く守って行かなくてはなりません。

番場町会にある「山王神社」の参道から→



神崎町会

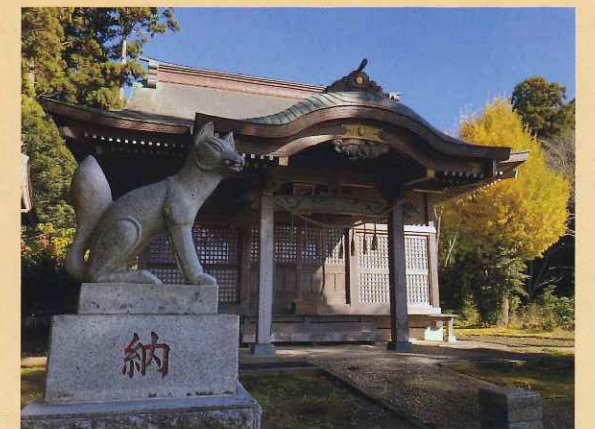
町会長 石渡晴夫

神崎町会は、41戸の町会員の皆さんとの協力と助け合いで成り立っている町会です。市津地区の他の町会も同様と思いますが、子供が減り高齢者が増えるという状況では、今まで以上に町内の協力・助け合いが必要になって来ると考えられます。

神崎町会の行事としては、「溝払い」「川刈り」「しめ縄作り」などが主なものとして挙げられます。そのほかにお宮の行事としては「秋祭り」「おびしゃ」「初午」などがあります。また、年末12月31日には真浄寺の住職である田中妙定さんによる水行も行われます。

これからも周辺町会の皆さま、諸団体の皆さまと協力し合い、良いものを見つけ、前を見つめて町会運営を進めていきたいと考えております。

写真は神崎町会にある「稲荷神社」→



～ 広報部 編集後記 ～

12月に入り、毎日寒い日が続くようになりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？ 右の写真は本誌の編集会議の様子です。毎号、諸団体代表に会議に参加して頂き様々な意見を交わしながら「むらたがわ」が作成されています。この場をお借りして関係者の皆さまに御礼申し上げます。



↑ 下野公民館をお借りして、各団体から選出された編集委員の皆さんと地区社協会長、広報部による会議が行われます。

すべてのお問い合わせ窓口は...

市津地区社会福祉協議会

〒290-0154 市原市下野400-1

毎週月曜日・水曜日 10時～12時
電話・FAX 0436-37-1235



「3年ぶりに3ネットワーク合同研修開催」

市東第二小区小域福祉ネットワーク
 湿津小学校区小域福祉ネットワーク
 市東第一小学校区小域福祉ネットワーク

会長 石田 陽司
 会長 近藤 敏子
 会長 大塩 順子

コロナ禍で中々実施できませんでした安心訪問員フォローアップ研修を3年ぶりに、令和4年10月22日(土)市津公民館研修室において、3ネットワーク合同で開催いたしました。45名の訪問員の方々に参加していただき地域包括支援センター市津・ちはら台の葛岡氏より「見守り・訪問活動のポイント」と題し、信頼関係を築き良い関係を保つ事の大切さ等を丁寧に分かりやすくお話頂きました。また、市原市社会福祉協議会市津地区担当の方より、「消費者トラブル」「福祉サービス利用援助事業」についてご説明頂きました。皆さま熱心に耳を傾け、質問も活発にされていました。これからの訪問活動のお役に立てれば幸いです。



←「いちはら救急医療情報キット」

市原市では、65歳以上の高齢者や65歳以下の障害者の方を対象に「いちはら救急医療情報キット」を配布する事業が11月より始まりました。これは、安心生活見守り支援事業の福祉医療情報キット「みまもりくん」と内容がほぼ同じです。いずれはこの新しいキットに統合していく考えのようですが、今のところ市原市の具体的な対応は決まっていません。すでに「みまもりくん」を利用している方は混乱する可能性があります。そこで市津地区では、基本的に市原市のキットを申請し、新しい筒に福祉医療情報シートを入れ替えるよう対応を統一したいと思います。安心訪問員の方も見守り希望者の方から問合せなどがありましたら、そのように案内していただきますようお願いいたします。

青少年育成市津地区民会議の活動報告

青少年育成市津地区民会議では、コロナウイルス感染拡大で2年間中止していた夏休みの「お助け講座」を3年ぶりに再開しました。

中学3年生向けには「租税教室」を開催、千葉東税務署税務広報官の星様に講師をしていただきました。小学4、5、6年生向けには「読書感想文の書き方講座」を開催、湿津中学校の片岡敦子先生に講師をしていただき、湿津小、市東第一小、自由参加のちはら台地区の小学校から合計22名の児童たちに参加していただきました。

会長 高浦 繁晴



↑ 講座が終わり、みんなで「ピース!」の記念写真です。

間違い探しに答えると

市津地区社協オリジナル
 「よつばちゃんアクリキーホルダー」を正解の方にプレゼント!

葉書の裏に「左右の絵で何箇所か違いがあったか」、氏名、ご住所(賞品の送り先)を明記のうえ下記までご応募ください(ヒント:違う箇所数はヒト桁です)。正解者多数の場合は抽選となります。当選者発表は発送をもって換えさせていただきます。



〒290-0154 市原市下野400-1「市津地区社会福祉協議会」宛 令和5年1月末締め切り

↑ よつばちゃんキーホルダー。前は15名の方が当選!

あなたの町の身近な相談役

「民生委員・児童委員」の活動ご紹介

市津地区民生委員児童委員連絡協議会 会長 片岡 仁



民生委員の担当する世帯の方への訪問活動中の様子です。皆さまの相談事や困り事に、小さなことでも寄り添い活動しています。



↑ 12月に新たに加わった方を含め、市津地区民生委員・児童委員19名、主任児童委員2名の合計21名で3年間各地域を担当。

地域の皆さま、年末のお忙しい中いかがお過ごしでしょうか。日頃の民生委員・児童委員の活動に対し、特段のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、民生委員・児童委員は、担当する地区に暮らす地域住民の皆さまの「身近な相談相手」として、生活上の心配事や困り事の相談に応じ、必要な支援・関係機関への「つなぎ役」となり、相談者に寄り添い活動を行っております。令和4年12月1日には全国民生委員児童委員の一斉改選も行われ、市津地区も新たに委員21名(定数28名)体勢でスタートしたところです。また、民生委員・児童委員が毎年実施している「友愛訪問活動」は、市津地区社会福祉協議会の地域福祉向上のための賛助会員や、歳末たすけあい募金(福祉バザー)などの寄付金の一部を活用させていただき、活動を継続しております。

最後に、コロナ禍で十分な活動が困難な状況ではありますが、地域福祉向上のため試行錯誤しながら、市津地区社会福祉協議会や地域包括支援センター市津・ちはら台などと緊密に連携して活動を実施してまいります。今後とも活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ある日の市津地区社協



令和4年10月29～30日に旧市東第二小学校にて開催された「市東地区15町会フォトコンテスト作品展」の会場入口に於いて、市津地区社協のフリーマーケットを実施させていただきました。昨今なかなかバザーを実施できない状況でしたが、屋外での実施なら、と小規模ながら急遽決まったものです。フォトコンテスト事務局からは「大勢が集まるフォトコンテスト会場を有効利用していただき、地域福祉へ少しでも協力できたことを大変嬉しく思います。」とのご感想をいただきました。この2日間で6,700円の売り上げがありました。ご協力いただいた皆さま、大変ありがとうございました!

← 沢山の寄付の品がありましたが、おかげさまで残り少なくなってきました。